

シリーズ
原発・いのち・みらい
その80

衆議院議員・菅直人氏講演 総理大臣として直面した 福島原発事故の真実

理事 打出 喜義（金沢市・産婦人科）

2023年3月5日にホテル金沢にて、衆議院議員・菅直人氏をお招きし、「総理大臣として直面した福島原発事故の真実」からの参加者でした。

事故原因は発生前から

講演の冒頭、ロシア・ウクライナの現況について触れられ、わが国の安全保障上の問題として原発は通常兵器による攻撃だけでも福島原発事故以上の惨禍をもたらす可能性を指摘され、原発をなくす必要性を強調されました。

その後、配布資料に基づいての講演が行われ、福島原発事故原因のほとんどは事故発生前にあるとして、冷却用海水の揚水費用を浮かすため標高35メートルの立地を10メートルにまで削ったとの指摘がありま

「海水注入」の真相、「なぜ東電本店に乗り込んだか」との事故対応3つのか、について当時をめぐってお話もありました。加えて、多くの大使館が東京から避難したものの米国大使



菅直人氏

菅直人氏は、2011年3月11日の福島原発事故発生後、総理大臣として直面した福島原発事故の真実について、講演を行いました。講演では、事故原因のほとんどは事故発生前にあるとして、冷却用海水の揚水費用を浮かすため標高35メートルの立地を10メートルにまで削ったとの指摘があり、多くの大使館が東京から避難したものの米国大使



会場・Zoom合わせて139人が参加し開催された（3月5日・ホテル金沢）

岸田政権の原発回帰

岸田政権の原発回帰の背景には、GX会議がCO₂を出し不安定化する化石エネルギーへの過度の依存から脱するためと主張するが、それは明らかに誤りと断じられ、原子力に頼らない再生可能エネルギー等を主力とした原発ゼロへの菅私案を披露されました。その一つとして耕作と発電を両立する「営農型太陽光発電」を紹介され、「日本にも日本海側にはかなりの原発が並んでいます。すぐに、どこかの国が日本を攻めてく

るとは言いませんが、万が一、通常兵器で日本にある原発が攻撃された場合には、原発事故と同じことが起きることは間違いありません」と、再度の警鐘を鳴らされました。

休憩後、質疑応答に入りましたが、21の事前質問に加え、会場やZoomの参加者から50の質問が寄せられ関心の高さが窺われました。これらに一問一答方式で答えていただくのは不可能でしたので、司会者から①SPEEDI（緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム）やREMAT（緊急被ばく医療支援チーム）はご存知だったか、②緊急事態宣言はいつ解除になるか、③安倍元総理への名誉毀損裁判について、④東京電力の破綻処理をしなければならぬ理由、⑤原子力ムラの実態、⑥復興税の防衛費流用の是非などの質問を取り上げ、回答いただきました。

東日本大震災13年目を迎え、政府が原発回帰方針を示している今、原発について考える良い機会となったと思います。

部会だより Vol.2
メイキング・オブ・協会活動 with you
学術・保険部 「学術」と「保険」両面の視点
副会長 小川 滋彦（金沢市・内科）

学術・保険部。本来なら独立すべき学術部と保険部がひとつの部会をやっているところが、保険医協会らしいと思います。

せんか。2年に1回の診療報酬改定の検討会は、この部会が最も活気づき、会員の皆様の保険医協会への期待が最大限に高まるイベントでしょう。あくまでも「説明会」ではなく「検討会」なのは、私も医療者が臨床現場の視点で、その改定が妥当と言えるのかを検討し、正すべき問題があるのなら、学術的な説得力を持って国に申し入れをする、という意味だと思います。



今回の、かなり硬派な意見を述べましたが、そんな心意気を知っていただけだと嬉しいのです。そして、新しい発想を学術企画に吹き込んでいただく、あなた！学術・保険部員を募集中です。

急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム）やREMAT（緊急被ばく医療支援チーム）はご存知だったか、②緊急事態宣言はいつ解除になるか、③安倍元総理への名誉毀損裁判について、④東京電力の破綻処理をしなければならぬ理由、⑤原子力ムラの実態、⑥復興税の防衛費流用の是非などの質問を取り上げ、回答いただきました。

東日本大震災13年目を迎え、政府が原発回帰方針を示している今、原発について考える良い機会となったと思います。

在宅医療点数の手引 | 2022年度 改定版

会員価格3,000円（定価5,000円）

改定のたびに複雑化していく在宅医療点数を、独自に作成した図表などを豊富に使い解説しています。各点数のQ&A、介護保険の解説、約80例の明細書事例も掲載し好評です。ご注文はFAX、電話、メールよりご連絡ください。



特集
在宅医療点数の手引
診療報酬と介護報酬
2022年度 改定版
第1部 解説資料編
在宅医療点数の基礎知識
在宅医療点数の算定方法
在宅医療点数の請求方法
在宅医療点数の請求書
在宅医療点数の請求書
第2部 請求事例編
在宅医療点数の請求事例
在宅医療点数の請求事例